

平成 20 年 3 月 30 日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目 1 番 28 号  
虎ノ門タワーズオフィス  
フィンテックグローバル株式会社  
代表取締役社長 玉 井 信 光  
(コード番号：8789 東証マザーズ)  
問合せ先：取締役経営戦略本部長 野瀬 泰伸  
電 話 番 号： ( 0 3 ) 5 7 3 3 - 2 1 2 1

### 一部報道について

昨日及び本日の一部報道において、医療コンサルティング会社の株式会社アスクレピオス（住所：東京都中央区日本橋室町三丁目 4 番 7 号、平成 20 年 3 月 19 日に東京地方裁判所において破産手続開始が決定）の関係者らが、大手商社である丸紅株式会社名義で偽造された書類を利用して複数の投資家から出資を募り、これについて巨額の回収不能金が発生しており、当社も本件に出資しているといった主旨の記事が掲載されております。

当社においては、平成 19 年 12 月 19 日付当社リリース「特定子会社の異動についてのお知らせ」に記載の通り、当社の子会社である株式会社 F G I プリンシパル（以下、「F G I P」という）が、他社アレンジの S P & W ・アスクレピオス投資事業組合 4 号（民法上の任意組合）に非業務執行組合員として平成 19 年 12 月 20 日に 2,190 百万円出資しており、同組合を連結子会社としております。同組合は医療機関向け機器およびコンサルティングに必要な資金調達のための取組みに、2,200 百万円を拠出しております。

上記の取組みにおいては、平成 20 年 3 月 21 日を期限として組合に資金が償還されることとなっておりますが、現時点において未だその資金が償還されておられません。丸紅株式会社の上記取組みへの関わりについて確認作業が完了していなかったこと、及び本件に事件性があることより開示を控えておりましたが、今後当社としては、関係当局に相談し、捜査に全面協力するとともに、事実関係を更に調査して債権回収に努めて参ります。なお、一連の取組みについては、上場株式約 19 億円（3 月 28 日時点の株価を基に算出した時価であり、回収額は今後の株価等に左右されます）を担保としております。このため、同組合の債権回収ができない場合においても、一定の割合で債権の保全が可能と考えておりますが、業績に与える影響については現段階では適切な引当金を検討中であり、確定しておられません。本件に関しては、報道されている事項を含めて全容を解明すべく調査するとともに、開示すべき事実が判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上